

2025年5月23日

～企業のリスクマネジメントの高度化を支援～

米国ハワイ州でキャプティブ関連支援サービスを提供開始

MS & ADインシュアランス グループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：船曳 真一郎）は、本日より、米国ハワイ州に設立した MSIG Captive Management - Hawaii, LLC において、企業のお客さま向けにキャプティブ※¹ 設立と運営・管理を支援するサービスの提供を開始します。

当社は、本サービスを通じて、企業を取り巻くさまざまなリスクへのソリューション提案を強化し、お客さまのリスクマネジメントの高度化を支援していきます。

※1：保険以外の事業を行う企業が、リスク管理等を目的に、主として自社グループのリスクを引き受けるために設立する保険子会社。

1. 背景

昨今、自然災害の激甚化や地政学リスク、国境を越えたサイバー攻撃等、多様なリスクが顕在化しています。企業の外部環境が大きく変化する中で、全社的リスクマネジメント体制の構築・整備が求められており、グローバルなリスク一元管理や事故防止取組、リスクファイナンス等、リスクマネジメントの高度化に向けた各種検討が進むことが想定されます。

このような中、当社は、近年日系企業のキャプティブ設立が増加している米国ハワイ州で、日系キャプティブの設立・運営で業界トップクラスの実績をもつ ALAKAI GROUP INC.（以下「アラカイグループ」）との合併で新たなキャプティブマネジメント会社を設立しました。

2. 新会社の概要

名 称	MSIG Captive Management - Hawaii, LLC
所 在 地	米国ハワイ州
設 立 年 月	2025年3月
代 表 者	本橋 嘉雄
出 資 比 率	当社70%、アラカイグループ30%

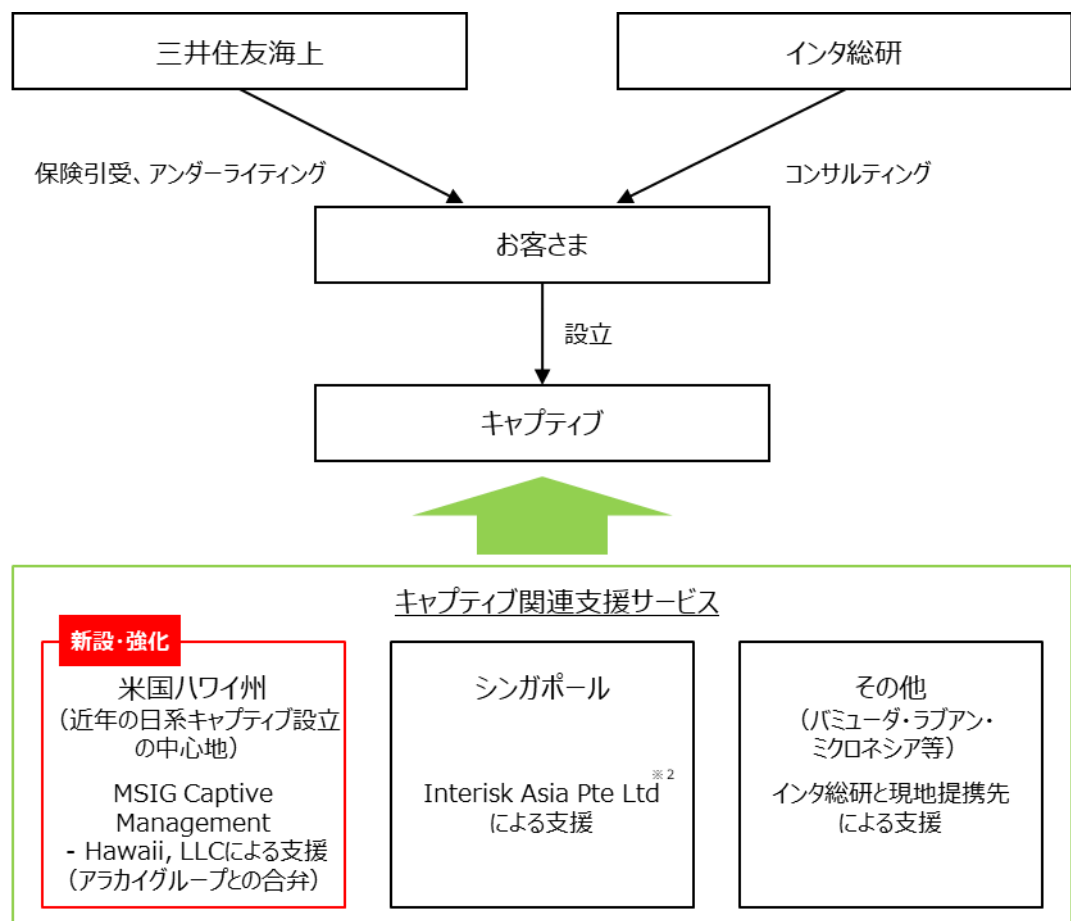
3. キャプティブ関連支援サービスの概要

キャプティブ設立には、設立地の現地当局から認可を取得する必要があるため、適切な事業計画の策定、厳格な収支管理、監査法人等との連携など、専門的な業務運営が必要となります。

新会社は、当社やMS & ADインシュアランス グループのMS & ADインターリスク総研（以下「インタ総研」）、アラカイグループと連携し、米国ハワイ州でキャプティブ設立を検討される企業のお客さまに対して、以下のサービスを提供します。

- （１）キャプティブの設立支援
 - ・資本金や採算性の検証、フィージビリティ・スタディの支援
 - ・認可取得の支援、法律事務所等の現地サービスプロバイダーとの連携の支援
- （２）キャプティブの運営および管理の支援
 - ・財務諸表等の作成の支援
 - ・法規制の遵守確認の支援
- （３）その他上記に付随する支援

＜イメージ図＞



※2：インタ総研の100%子会社。1998年設立。

＜ご参考＞

■アラカイグループ会社概要

名 称	ALAKAI GROUP INC.
所 在 地	米国ハワイ州
設 立 年 月	2023年1月（中核グループ会社のALAKAI GLOBAL INC. は2018年8月）
代 表 者	三澤 壮太郎
業 務 内 容	キャプティブの設立・運営・管理の支援、会計・税務アドバイス 等

以 上